

## 第2部課程第171期（平成26年10月7日～平成26年12月18日）

|                     |  |
|---------------------|--|
| 課 目 名               | 8-2 スピーチ演習   |
| 時 限 数               | 3 時限   |
| 担 当 講 師             | <p>◆講義（第2時限）：(株)話し方研究所代表取締役会長 福田 健<br/>中央大学法学部卒業後、1967年 言論科学振興協会の話し方運動に参加。1983年 (株)話し方研究所 所長、2004年に会長に就任。</p> <p>◆演習（第3・4時限）：(株)話し方研究所講師<br/>・島野 浩二・長崎 真紀子・安生 祐子・新井 均・伊能 史子<br/>・奥山 晴治・宮本 久男・法林 孝子・大堀 英明・片山 啓子</p>   |
| ね ら い               | 行政を取り巻く環境の急激な変化に対応するためには、内部職員の育成や住民の信頼・協力の獲得の土台となるコミュニケーション能力の向上が必須である。施策を外部に説明し、理解と納得・協力を求めるプレゼンテーション・スキルの向上を総括的講義と演習を通して修得する。  |
| 講 義 概 要             | <p><b>【講義】</b> 1. プレゼンテーションを支えるコミュニケーション<br/>2. 聴衆をひきつけるコミュニケーションの方法<br/>3. コミュニケーションの目的と機能<br/>結び コミュニケーションとプレゼンテーション</p> <p><b>【演習】</b> 1. 講義「スピーチの基本」・・・大勢の前で話す際の基本形と準備<br/>2. 実習：3分間スピーチ「〇〇を提案する」・・・【事前準備あり】<br/>自由に〇〇を設定し、聴衆を特定／一人ずつ発表(3分)<br/>講師コメント 3分<br/>※実習の途中で解説「表現の3原則」が入る場合があります。</p> |
| 受 講 上 の 注 意         | <p>実習の3分間スピーチについては、事前に準備をしておいてください。</p> <p>◆スピーチタイトル 「〇〇を提案する」<br/>1. 「〇〇」は自由に各自設定する<br/>2. 聴衆を特定する（例：住民・後輩・協力会社等）</p> <p>以下は参考例です。<br/>（例）「住民にボランティア参加を提案する」<br/>（例）「協力会社に業務の改善を提案する」<br/>（例）「職場の後輩に部署の年度方針を提案する」</p>   |
| 使 用 教 材             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義レジメ（その他、参考資料配付予定）</li> <li>・「こんな簡単な話が、なぜ通じないのか！」福田 健著（アールズ出版）</li> <li>・テキスト「スピーチコース」（話し方研究所）</li> </ul>   |
| 効 果 測 定             | なし   |
| そ の 他<br>(他の課目との関連) | 「スピーチ演習」   |